

41 市道桜木町線



DATA・BOARD 41



- ①長野県須坂市大字須坂
- ②延長：190m，車道幅員：3.5m，歩道幅員：1.5～3m×2
- ③ベンチ，照明灯
- ④サクラ・ツツジの植栽，インターロッキングブロック舗装，御影切り石，ヒノキ材

●ふるさとの色と光

須坂市では、土蔵や塀壁の残る町並みの保存により、歴史や文化の潤いあふれるまちづくりを展開しており、「市道桜木町線」は長野電鉄須坂駅から歴史的な蔵づくりの町並みへ通じるプロムナードとして整備されたものである。

整備にあたっては、車道部分には地域の特産品であるリングゴとブドウの色を配し、歩道部分には蔵の色である白と黒を基調としてサクラの赤を配している。また、街路灯は明治・大正時代のガス灯を模し夜の通りを優しい光で演出している。

桜木通りの名は、以前はサクラが通りを飾って人々の憩いの場であったことから命名したもので、サクラを中心にツツジを植えている。また、地場産の松代石やヒノキで作ったベンチも配し、憩いと安らぎの空間を創出している。